

平成 27 年度開院

西知多総合病院

東海市民病院と知多市民病院が統合し
新たな中核病院が誕生します





東海市と知多市で構成される一部事務組合である西知多医療厚生組合は、運営する東海市民病院と知多市民病院を統合し、平成27年度に西知多総合病院を開院します。

西知多総合病院は、知多半島医療圏北西部に求められる二次救急医療や質の高い医療サービスを住民に安定的に提供し、地域の医療機関が安心して患者を紹介できる地域完結型の中核病院となるため、以下の基本理念・基本方針を掲げます。

基本理念

- 1 地域の皆さんとともに育む、
心のこもったあたたかい病院を目指します。
- 2 質の高い医療を提供する、
信頼される病院を目指します。
- 3 地域医療の担い手として、
安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

基本方針

- 1 患者さんの生命と人権を尊重し、安心安全な医療を提供します。
- 2 地域の基幹病院として、
救急医療と急性期医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療機関や保健・福祉機関と連携し、
地域住民の健康増進を図ります。
- 4 教育と研修により、
医療技術の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- 5 職員がやりがいを持ち、
安心して働くことができる環境を整えます。
- 6 健全な病院経営に努めます。

■ 病院概要

名称	西知多総合病院(にしちたそうごうびょういん)
建設地	愛知県東海市中ノ池三丁目地内
病床数	約470床 (ICU8床、救急病床12床、結核モデル病床10床、緩和ケア病床20床を含む)
標榜診療科	27科(内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、内分泌・代謝内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科)
外来患者数(想定)	1日当たり800～1,000人程度
病床利用率(想定)	90%
平均在院日数(想定)	12日

■ 開院までのスケジュール



■ 東海市民病院・知多市民病院の沿革

昭和49年	7月	東海市民病院が開院(東海産業医療団横須賀病院を譲り受ける。186床)
昭和59年	3月	知多市民病院が開院(176床)
昭和59年	6月	東海市民病院が東海市中ノ池に移転開院(210床)
昭和60年	11月	知多市民病院が増床(240床)
昭和62年	7月	知多市民病院が増床(300床)
平成14年	4月	東海市民病院が病床数を変更(199床)
平成20年	4月	東海市民病院と東海産業医療団中央病院が統合し、東海市民病院分院を開院(154床)
平成22年	4月	東海市民病院と知多市民病院を、東海市と知多市で設置する一部事務組合である西知多医療厚生組合へ移管し、同組合の運営する病院として開院
平成24年	5月	新病院建設に伴う東海市民病院本院の解体のため、東海市民病院本院を分院の場所に移転統合し、東海市民病院を開院(257床)

■ 主な医療機能

●地域中核災害医療センターである半田市立半田病院及び地域災害医療センターである厚生連知多厚生病院の機能を補完するため、適切な施設整備を行います。

災害医療

救急医療

●二次救急を確実に受け入れるため、救急科を設置します。
●ICU、救急病床を設置します。

脳血管疾患
心疾患

●脳神経外科及び循環器内科の強化により、緊急性の高い脳血管疾患・心疾患への対応を強化します。

予防医療

●人間ドック、がん検診、脳ドックなどを実施します。
●健診メニューの各種オプションの充実、女性専用ゾーンの設置など、利用者へのサービス向上を図ります。

周産期医療
小児医療

●確実な受け入れができる態勢を整え、産婦人科及び小児科が連携した医療を提供します。
●地域の医療機関との効率的な医療連携を図ります。

がん

●がんの早期発見から治療に至るまでの一連の医療提供体制として、手術、化学療法などを充実します。

■ 主な特徴

質の高い医療の提供

- 医師の確保
- 病院施設や医療機器の整備

地域医療体制の充実へ向けた取り組み

- 地域医療連携の推進

働きやすい環境づくり

- 職員が業務に専念できる体制づくり
- 医療サービス及び業務効率の向上を支える施設整備

健全な経営の実現

- 安定した経営基盤の確保

- 教育研修の充実・人材育成
- チーム医療の実践

- 地域ぐるみの取り組みの推進

- 職員の意欲と能力が発揮される人事・評価制度
- 福利厚生施設の充実

- 医療支援機能の強化

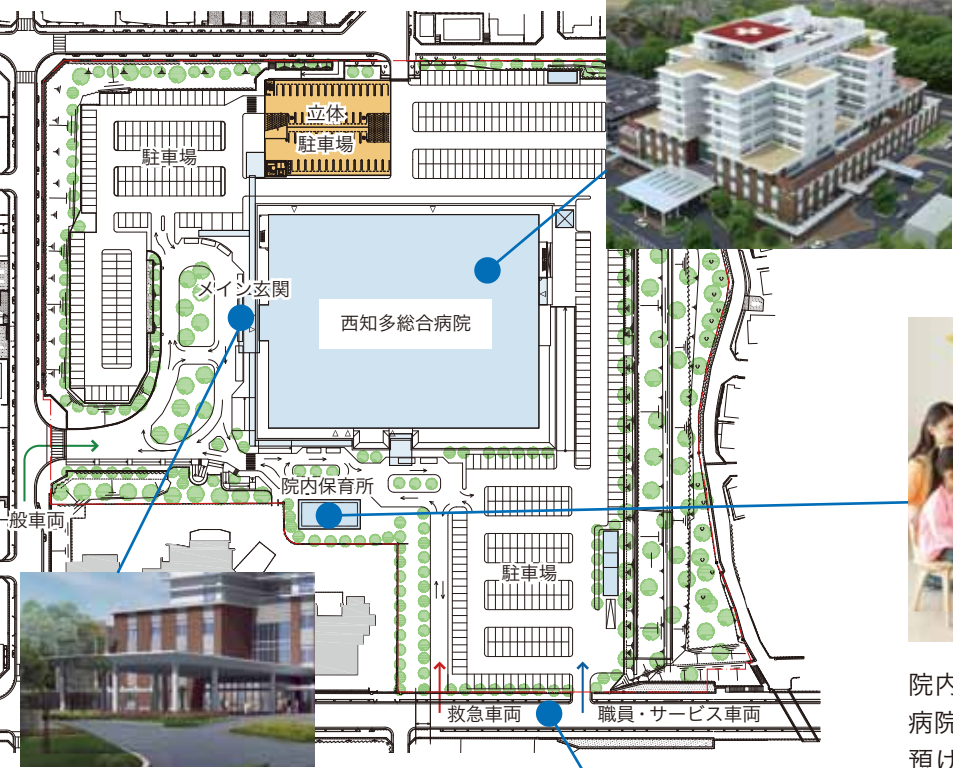
■ 施設設備概要

敷地面積	41,955.81㎡
延床面積	43,550㎡(立体駐車場など含む)
建物階数	地下1階、地上9階
構造	鉄骨造(免震構造)
駐車場	約640台

■ 災害に強い病院づくり

- 地震に強い構造(免震構造)
大規模震災に対しても病院機能が維持できるよう、耐震性に優れた免震構造とします。
- 供給ライン二重化による機能低下抑制
大規模災害発生時の病院機能の低下を最低限にするため、施設外からの電力供給の二重化や自家発電機の設置など、ライフラインが途絶するリスクを抑えます。
- 多数負傷者の受入対応
大規模災害発生後、多数の負傷者を受け入れ、トリアージを行うスペースを駐車場やメイン玄関前に確保します。また、エントランスホール、ホスピタルストリート、講堂などの大空間を救急処置スペースとし、緊急用の医療ガスや非常用電源を配備します。

■ 敷地配置



屋上にヘリポートを設け、患者の搬送及び受け入れを可能とします。また、災害時の救援物資の安全な受け入れを可能にし、迅速な病院機能の回復を支えます。

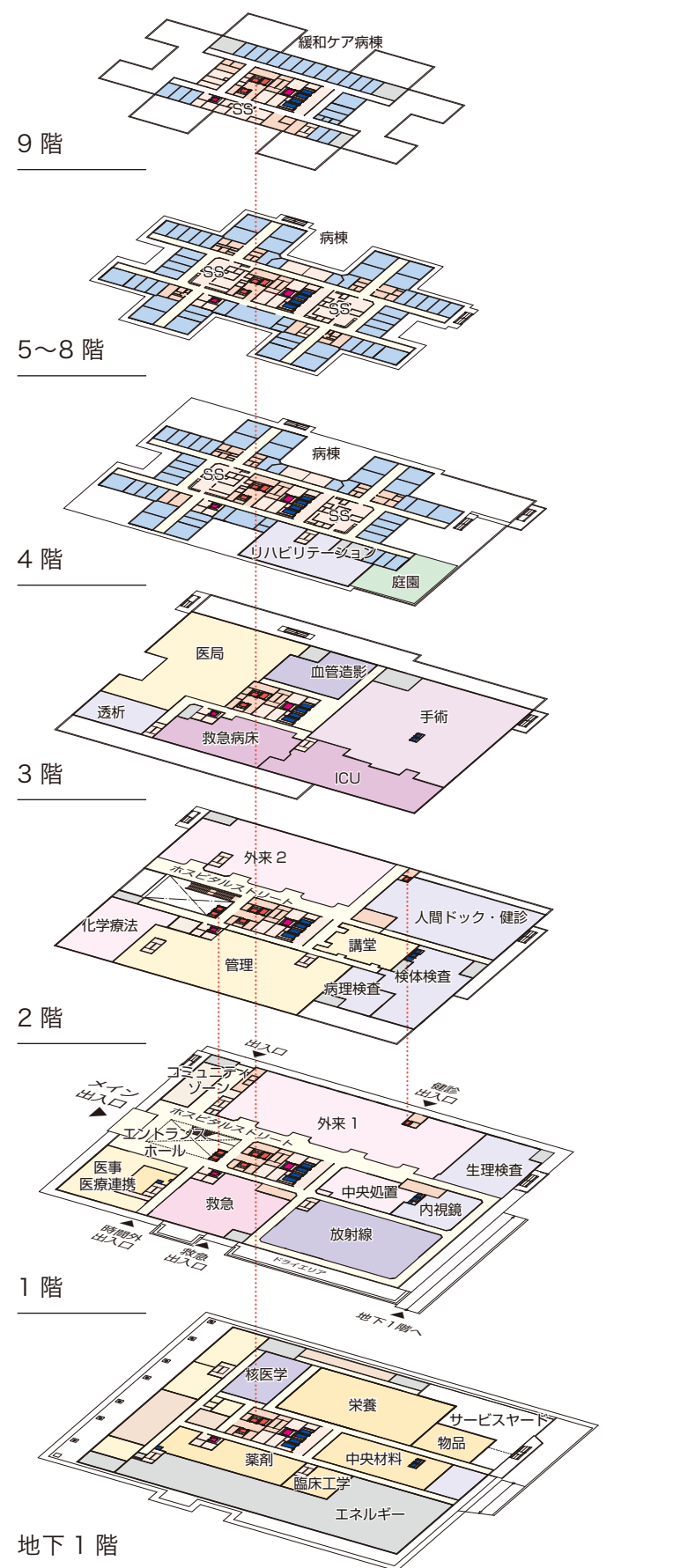


院内保育所を病院敷地内に設けます。病院で働くスタッフが子供を安心して預けられ、退勤後にすぐに迎えに行くことができます。

メイン玄関前に大きな庇を設け、雨に濡れないアクセスが可能です。

救急車の動線は一般車両と分離し、救急搬送の迅速性・確実性を確保します。

■フロア構成



※点線は患者用、人間ドック・健診用エレベータ

計算された動線が 効率的な医療の提供を可能にします。

複雑な機能を有する病院施設において効率的に医療を提供することができるよう、わかりやすさと各種部門の明快な動線分離が不可欠であるという考えに基づいた設計を行っています。

- ・外来患者と入院患者の動線の分離
- ・患者動線とスタッフ動線の分離

■エントランスホール

新病院の顔として患者を迎え入れるエントランスホールは、二層吹抜けを持つ、ゆったりとした空間となります。また、ホールに面してホスピタルストリート、階段、外来用・患者用エレベーターを設置し、診療科や病棟へのスムーズな移動が可能となっています。



■外来

外来部門は1階、2階に分け、1階は患者数が多く、車いすや高齢の方が多い内科系や整形外科を中心に配置しています。

患者待合いは、ブロック受付待合と診察前待合を区分することで、診察間近の患者を診察付近に待機させ、呼び込み時間の短縮など効率的な運用を可能としています。

また、各診察室のバックヤードにスタッフ専用通路を確保するなど、スタッフ動線にも配慮しています。

中央処置室は各診療科からの動線を短縮するため、中央付近に配置しています。



■病棟

1病棟45床を基本とし、各フロア2看護単位の病棟構成とします。また、スタッフステーションは病棟の中央に位置し、東西のスタッフステーションがバックゾーンで繋がることにより、相互の連携や柔軟な運用を可能にしています。

《緩和ケア病床》

静かで見晴しの良い最上階に配置し、高度で専門的な診療及び看護を提供します。

《結核モデル病床》

8階には合併症を有する結核患者などに対応する結核モデル病床を整備し、呼吸器疾患全般への医療を提供します。

■救急部門

救急科を設置し、二次救急を確実に受け入れる体制を整えます。

また、隣接したエリアに高機能なCT・MRIを配置するとともに、手術部門へのスムーズな動線を確保しています。

■ICU

8床のICUを手術室と救急病床に隣接して設置し、症状が急変した重症患者、急変する恐れのある患者、手術後で集中的な症状観察が必要な患者を対象に、高度で専門的な診療及び看護を提供します。

■手術部門

手術室は全9室のうちバイオクリーンルーム対応1室、内視鏡対応2室、陰陽圧切替手術室1室を整備し、高度で良質な医療を提供します。

■その他部門

《リハビリテーション》

4階のリハビリテーション部門に隣接した庭園を設置します。

《人間ドック・健診》

人間ドック・健診専用出入口を整備するとともに、女性専用ゾーンの設置など、利用者へのサービス向上を図ります。



産業と自然が調和した 恵まれた環境と 快適な交通アクセス

愛知県が定めた12圏域の二次医療圏(平成25年3月現在)のうちの一つで、愛知県の南西部に位置する知多半島医療圏。

その北西部に位置する東海市と知多市は、西は伊勢湾に面して名古屋南部臨海工業地帯の一角を形成し、内陸部は洋蘭、フキ、タマネギなどを特産とした農業も盛んな地域です。

西知多総合病院は、温暖な気候と四季の変化の美しい両市の市境付近に建設されます。



聚楽園大仏



東海まつり 花火大会



新舞子 マリンパーク

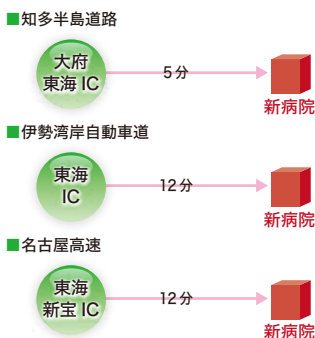


佐布里池 梅まつり

アクセス

■車

【最寄りICから】

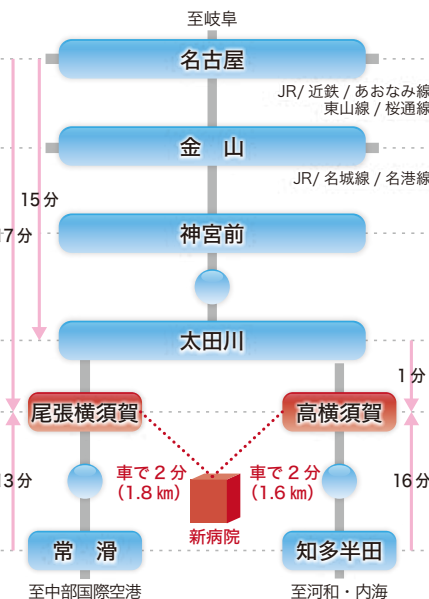


【名古屋ICから】



■電車

【名鉄 常滑線・河和線】



西知多医療厚生組合 経営企画課・新病院建設課

〒476-0003 東海市荒尾町丸根1番地 東海市民病院内 ☎052-603-2271 (代表) FAX 052-603-2717

<http://www.nishichita-aichi.or.jp/>